

## 日本劇作家協会 2021年度(令和3年度) 事業報告

### 1. 会員(2022年3月31日)

正会員:579名 入会:25名 復帰:0名  
退会:17名 除籍:21名  
逝去:3名

賛助会員 団体:10団体  
個人:10名

### 2. 会合

- ①理事会 2回:5月27日、3月1日
- ②評議員総会(10月までは代議員総会) 4回:5月31日(定時)、10月19日(臨時)、12月20日(臨時)、  
2月28日(特別)
- ③会員総会 延期
- ④運営委員会 2回:5月31日、12月20日

### 3. 育成、コンクール、セミナー

- ①第27回劇作家協会新人戯曲賞(後援:公益財団法人一ツ橋綜合財団)  
6月～応募作受付と一次審査二次審査  
12月12日公開最終選考会を開催(於 座・高円寺 ※無観客開催してライブ配信)
- ②戯曲セミナー  
10月～3月、完全オンラインで開催
- ③研修課(文化庁委託事業)  
5月～3月、担当講師:坂手洋二、佃典彦、松田正隆、横内謙介
- ④公開講座(文化庁委託事業)  
8月に収録して配信(会場開催なし)  
「戯曲セミナー蔵出し -井上ひさし名講義に学ぶ」  
「劇作家・清水邦夫を語る -清水作品のこれまでとこれから」

### 4. 普及、ワークショップ、シンポジウム

- ①月いちリーディング  
1)東京・全国:6月、7月、9月、10月、1月、2月(すべてオンライン開催)  
・10月は北海道支部と、1月は沖縄支部と共同運営  
2)大阪:9月、1月(いずれもオンライン開催)  
3)九州:9月(於 tsukimi(熊本市))、2月(於 SR ギャラリー(福岡市))  
・いずれも無観客開催してライブ配信  
4)東北:11月(於 河南公民館ミニホール(盛岡市))
- ②11月20日、関西版月いちリーディングスペシャル企画「劇作バトル！」(於 ドーンセンター)
- ③12月「リーディングフェスタ2021 戯曲に乾杯」  
「清水邦夫作品リーディング『青春の砂のなんと早く』」  
「新人戯曲賞最終候補作プレビューリーディング」  
(於 座・高円寺 ※無観客開催して収録・配信)
- ※以上、いずれも文化庁委託事業
- ④「戯曲リーディング2021 街を元気に 演劇を元気に」(文化庁 AFF事業)  
11月に広島市、12月に那覇市で開催(収録配信もあり)

### 5. 出版・広報

- ①第27回劇作家協会新人戯曲賞最終候補作掲載「優秀新人戯曲集2022」、12月に刊行
- ②戯曲オンデマンド出版・電子書籍「二十一世紀戯曲文庫」18タイトル、販売継続
- ③戯曲英訳出版(文化庁委託事業):3月に「ENGEKI:Japanese Theatre in the New Millennium 7」刊行
- ④会報(『ト書き』)の発行 2回:67号(3月)、68号(2022年5月)
- ⑤Webインタビュー「劇作家協会のナカミ」(5タイトル)公開
- ⑥会員メールマガジン、SNS、Web サイト更新などの継続

### 6. 調査、資料収集、アーカイブ

- ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)の蔵書(主に戯曲)収集に協力
- ②戯曲デジタルアーカイブの公開継続、上演問合せなどへの対応

### 7. 協力、パートナーシップ、後援

- ①座・高円寺の「2021年度日本劇作家協会プログラム」10作品が上演(5月～3月)  
・2月の『モンローによるしく』は初日のみ上演で以降は中止
- ②座・高円寺の「2023年度日本劇作家協会プログラム」の募集と推薦
- ③座・高円寺劇場創造アカデミーに名義協力
- ④杉並区の「東京高円寺阿波おどり演劇」に協力
- ⑤西日本劇作の会の「第2回西の風戯曲賞」に広報協力
- ⑥関西演劇振興会議の「大阪演劇見本市」に名義協力
- ⑦白河文化交流館コミネス指定管理者 特定非営利活動法人カルチャーネットワークの「第7回ハイスクール劇王 高校生短編演劇競技大会」に名義後援
- ⑧吉里吉里忌実行委員会の「吉里吉里忌 2022」に名義後援

- ⑨公益社団法人国際演劇協会日本センターの「紛争地域から生まれた演劇13」に名義協力
- ⑩一般社団法人日本舞台美術家協会の「第1回伊藤熹朔記念賞選考展」に名義後援

#### 8. 国際交流

- ①日韓演劇交流センター、英訳・仏訳戯曲集贈呈などの継続活動と海外からの問い合わせなどに対応

#### 9. 著作権、契約

- ①戯曲の著作権や上演許諾などに関する問い合わせへの対応を継続

#### 10. 声明・アピール・陳情

- ①3月4日、「ロシアによるウクライナ侵攻に対する反対声明」を公表
- ②3月7日、国際演劇評論家協会(AICT)「ロシア軍によるウクライナ侵攻に際して」に賛同表明
- ※いずれも会長名と日本劇作家協会有志として
- ③8月4日、伊丹市議会議長に「伊丹市立演劇ホール(アイホール)の存続を求める陳情書」を提出

#### 11. 支部、地域交流事業

- ①北海道支部;
  - 1)希望の大地の戯曲「北海道戯曲賞」に協力
  - 2)戯曲講座を開催
  - 3)上記4. で記載の「月いちリーディング」を共同運営
- ②東北支部;
  - 1)上記4. で記載の盛岡市での「月いちリーディング」を運営
  - 2)シンポジウム2022「11年目だから語りたい、震災演劇」を主催(高校演劇委員会との合同企画)
- ③東海支部;
  - 1)「第6回俳優A賞」を主催
  - 2)「ナビイチリーディング」を共同主催
  - 3)「劇王2022」 ※公演中止
- ④関西支部;
  - 上記4. で記載の大阪市での「月いちリーディング」と「劇作バトル!」を運営
- ⑤中国支部;
  - 1)「第8回中国ブロック劇王決定戦」 ※公演中止
  - 2)上記4. で記載の「戯曲リーディング2021」を運営
- ⑥九州支部;
  - 1)上記4. で記載の熊本市と福岡市での「月いちリーディング」を運営
- ⑦沖縄支部;
  - 1)上記4. で記載の「戯曲リーディング2021」を運営
  - 2)上記4. で記載の「月いちリーディング」を共同運営

#### 12. コロナ対策関連

- ①コロナ対策室の継続
- ②演劇緊急支援プロジェクトへの参加継続
- ③緊急事態舞台芸術ネットワークへの賛同継続

#### 13. ハラスメント対応

- ①「セクシュアル・ハラスメント事案への対応に関する基本要綱」の修正とハラスメント防止ガイドライン作成に関する調査研究
- ②個別事案に対する対応を継続

#### 14. その他

- ①令和4年度文化庁新進芸術家海外研修制度(長期研修)の応募受付 → 応募者なし

#### 15. 特記

- 1)定款を改正し11月1日付で施行(改正運営規則は12月21日付で施行)
- 2)改正定款に則り、評議員選挙と理事改選を実施
  - ①2月4日に評議員選挙の開票が行われ、まず選挙評議員10名が選出され、続いて推薦評議員4名が選任され、評議員14名は下記の通り決定した。
    - 赤澤ムック、鹿目由紀、工藤千夏、桑原裕子、ケラリーノ・サンドロヴィッチ、坂手洋二、瀬戸山美咲、高羽彩、佃典彦、土田英生、中津留章仁、平田オリザ、マキノノゾミ、渡辺えり
  - ②2月28日の特別評議員総会と3月1日の理事会で、会長(代表理事)、副会長、理事、監事を選任した。
    - 会長(代表理事):瀬戸山美咲
    - 副会長:土田英生、平田オリザ
    - 理事:鹿目由紀、桑原裕子、高羽彩、古川健
    - 監事:岡安伸治、横内謙介

以上